

シンポジウム

原発に関し True(ほんと : 個別的な真)を越えて Real (実は : 全体的に見た真)を知るための 実力専門家の真剣討論会

主宰 現代技術史研究会 M 分科会
企画 総合司会 西村 肇

2014年5月5日の「原発の設立当初の技術状況と課題を今に伝える～原子炉技術の実相と課題～」のテーマで、原子炉設計、製造技術や再処理技術、核燃料廃棄処分技術など原発関連技術の実相と課題について議論しました。今回は、そのような個々の専門分野における科学、技術の真の実態が理解できたとしても、生活者として社会的に活動している人間社会にとって必ずしもすべての科学、技術の真実を受け入れることが出来るとは限らない。

全体的に見た真とは何かを、三つの大テーマを軸に 実力専門家の主張と真剣討論を中心に 皆さんと共に認識を深めていきたいと思えます。

日時 : 2015年11月7日(土) 13:00~17:00 (12:30 開場)

場所 : せたがや がやがや館 交流室

世田谷区 池尻 2-3-11 03-6450-7908 東急田園都市線「池尻大橋」駅から徒歩7分

参加費 1,000 円

参加ご希望の方は、事前に10月31日までに下記URLに連絡ください。事前に資料を送ります。

jreikochan@yahoo.co.jp 神野玲子

討論テーマと予定討論者

テーマ1. 核発電(原発)技術における日米の格差

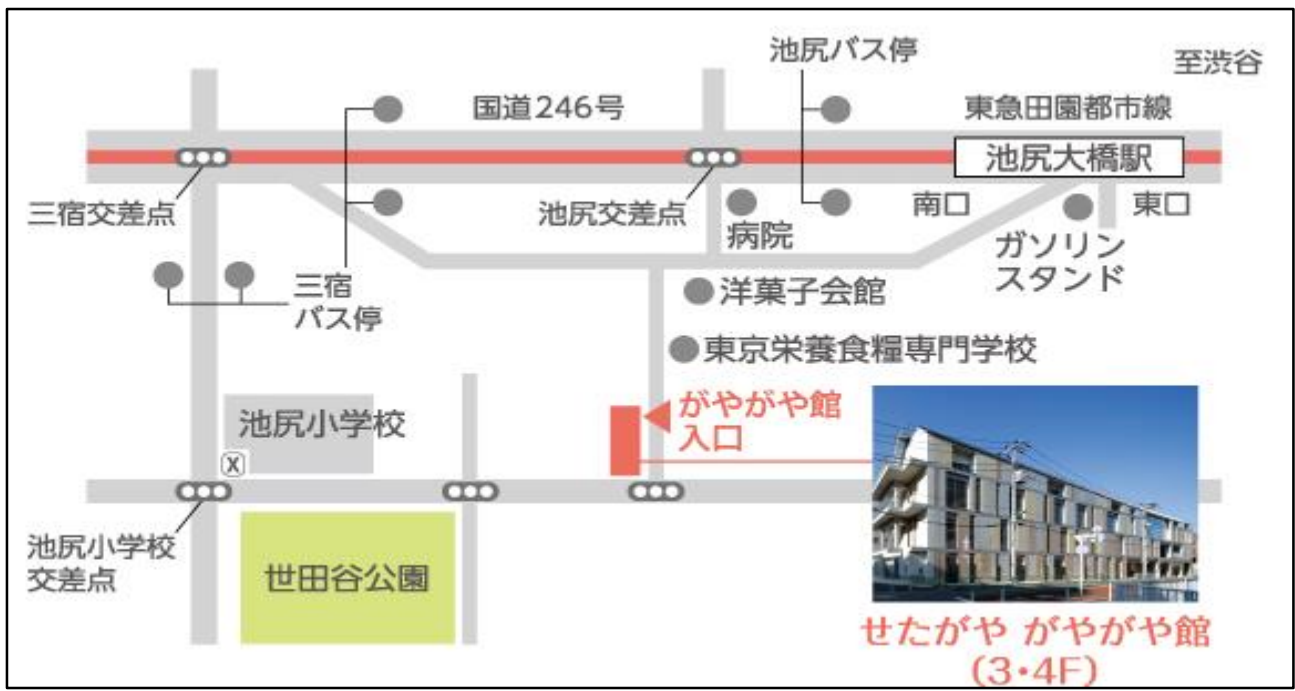
- 1) Three Mile Island 事故検証報告から知る米国核発電所技術の実力と真面目さ
渡辺一男(原子力学会)
- 2) 日本の増殖炉「もんじゅ」の企画設計をした技術者からみた
技術の実態とレベルと組織運営の問題点
元もんじゅ技術者
- 3) 東大原子力工学科 創設時の教授の人脈と経歴と実力
西村肇(元東大)

テーマ2. 代替エネルギー30%による脱原発は可能か

- 1) 太陽光発電と風力発電を主軸にした代替エネルギー発電で30%を達成することは可能
倉阪秀史(元環境庁、千葉大)
- 2) 日本の原発を不要にするための代替エネルギーの主役は石炭火力発電。技術実態を検討すれば
バイオ、太陽光発電は国民経済上の完全浪費。日本はIPCCのトリックから脱すべき。
久保田宏(元東工大)
- 3) 世界未曾有の原発事故を起こした日本の技術の責任は「世界基準の原発」をつくること
高嶋哲夫(元原研)

テーマ3. 本当に福島の子民のためになる解決とは何か

- 1) 「べき論」ではなく個人と社会を考えて問題を議論しよう
飯田泰之(明治大学)
- 2) 農家と3年間付き合ってきた本音
神野玲子(現代技術史研究会)
- 3) こういう問題の考え方
中西 準子(元横浜大)



主催：現代技術史研究会 M分科会